

BECC JAPAN 2025

行動変容から気候変動の解決を目指すコンファレンス



2025.8.27 [wed] 10:30-17:00

会場：東京大学 生産技術研究所 An棟 (東京都目黒区駒場)

参加費

早期割引価格 (7月28日まで) 一般:14,500円 / 自治体職員・学生:7,000円
通常価格 (7月29日以降) 一般:19,500円 / 自治体職員・学生:9,000円
交流会 3,000円 ※参加費にはランチ軽食費用が含まれます。

参加申込

以下のURLまたはQRから登録ページにアクセスして参加登録をお願いします。

<https://beccjapan2025.peatix.com>



申込締切
8.25 [mon] まで
※交流会は8月20日(水)まで

基調講演

「フューチャー・デザイン：将来世代から感謝される社会のデザイン」
西條 辰義氏

(京都先端科学大学 国際学術研究院 特任教授)

- 主催
気候変動・省エネルギー行動会議
- スポンサー (6月27日時点)
[ゴールド]
大阪ガス株式会社、東京ガス株式会社
[シルバー]
電気事業連合会、東邦ガス株式会社、
日本ガス体エネルギー普及促進協議会
[ブロンズ]
西部ガス株式会社、積水ハウス株式会社
- 後援 (6月27日時点)
環境省、エネルギー・資源学会、日本エネルギー学会、
空調和・衛生工学会、地球温暖化防止全国ネット、
省エネルギーセンター、日本家政学会、日本建築学会

BECC JAPAN 2025

BECC JAPAN とは？

行動科学の知見は、近年ますます注目を集めており、公共政策分野にも広く応用されています。米国では、こうした知見を集約し、行動変容を促す効果的なアプローチを議論する場として、2007年からBECC (Behavior, Energy and Climate Change) Conferenceが毎年開催されています。

BECC JAPAN は、日本版BECCとして2014年に始まりました。環境・気候変動・省エネルギーに関する行動の理解と行動変容に取り組む人々が集まるコミュニティを目指しています。このコンファレンスでは、多様な分野の専門家が集い、協働して持続可能な未来を目指すためのプラットフォームを提供しています。



基調講演

「フューチャー・デザイン: 将来世代から感謝される社会のデザイン」



講演者
西条 辰義氏

●講演者プロフィール

京都先端科学大学 国際学術研究院 特任教授。1952年香川県生まれ。ミネソタ大学大学院経済学研究科修了。Ph.D.(経済学)

オハイオ州立大学、カリフォルニア大学サンタバーバラ校、筑波大学社会工学系、大阪大学社会経済研究所、高知工科大学フューチャー・デザイン研究所、総合地球環境学研究所、一橋大学経済研究所を経て現職。気候変動枠組条約 (UNFCCC) におけるIPCC第四次評価報告書・第三作業部会のリードオーサーも務める。専門は専門はフューチャー・デザイン、制度設計工学、実験経済学。

著書には『フューチャー・デザイン』(単著・日経BP 日本経済新聞出版)

Future Design for Creating a World Worth Inheriting, Springer

『排出権取引』(共著・慶應義塾大学出版会) など多数。

●フューチャー・デザインとは：

将来世代が私たちに「ありがとう」と感謝したくなる社会のデザインとその実践です。そのために、私たちが本来持つ「将来可能性」が発揮できる社会のデザインをめざします。将来可能性とは、「目の先の利益を犠牲にしても、将来世代のしあわせをめざすことで今の自分のしあわせを感じる能力」。そのような仕組みのひとつが「仮想将来人」です。

PROGRAM

- 10:30-10:50 開会挨拶・来賓挨拶
- 10:50-11:50 基調講演「フューチャー・デザイン：将来世代から感謝される社会のデザイン」 西条 辰義氏
- 12:00-13:30 ネットワーキングランチ
- 13:40-14:50 テーマセッション「AI・ゲーミフィケーション・ナッジによる脱炭素コミュニケーション」
- 15:00-16:00 ポスター発表
- 16:10-16:30 スポンサーセッション
- 16:30-17:00 クロージングセッション
- 17:10-18:30 交流会 (会場：生産技術研究所 An 棟ホワイエ)

※プログラム構成及びタイムスケジュールについては変更の可能性がございます。

ACCESS

- 小田急線・東京メトロ千代田線/代々木上原駅より徒歩12分
- 小田急線/東北沢駅から徒歩8分。京王井の頭線/駒場東大前駅西口から徒歩10分
- 京王井の頭線/池ノ上駅から徒歩10分

※会場のAn棟へは東門(最寄駅：駒場東大前)が最も近いです。アクセスや経路については生産技術研究所のWEBページよりご確認ください。

MAP



本コンファレンスの詳細については、BECC JAPANのWebサイトを随時更新しております。

<https://seeb.jp/eventcontents/5612>